

各 論

第1章 生きがいつくりや社会参画の促進

1 地域活動への参画促進

- (1) 老人クラブ活動への参加促進
- (2) ボランティア・NPO活動等への参加促進

2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

- (1) 生涯学習の推進
- (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

3 就業の促進

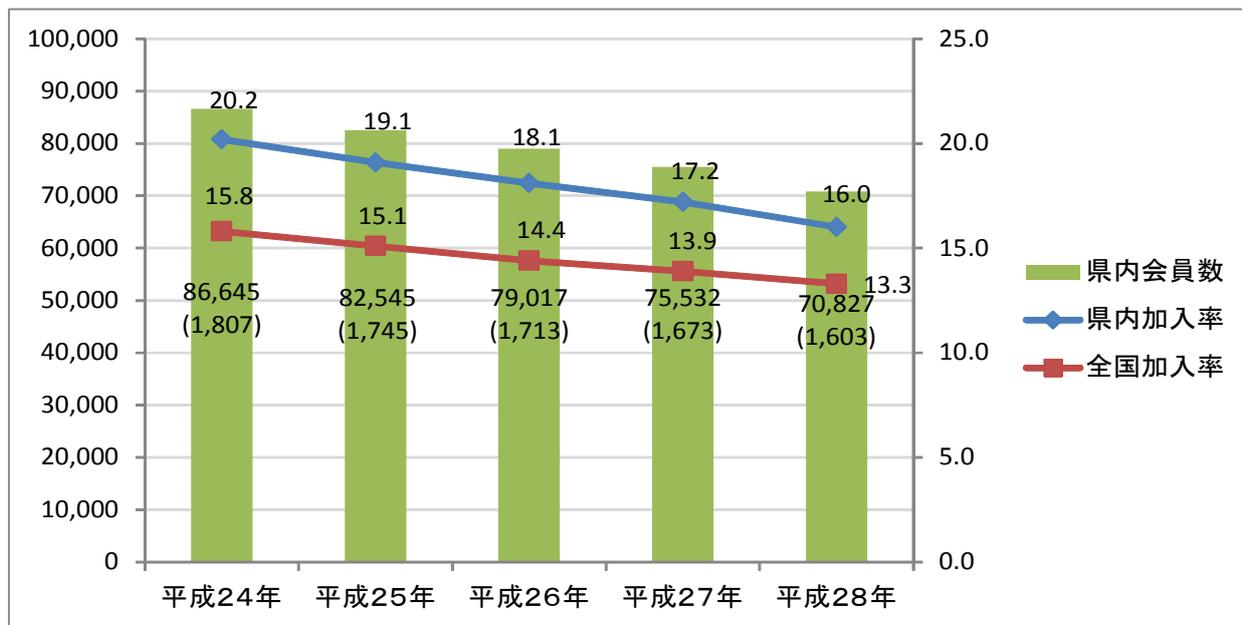
1 地域活動への参画促進

(1) 老人クラブ活動への参加促進

■現状と課題

- ① 高齢者の健康保持や介護予防、相互の支え合い、住みよい地域づくりなどの活動に取り組んでいる地域を基盤とする老人クラブにおいて、一人暮らし高齢者等を対象とする食事会の開催や空き店舗を活用した高齢者向け店舗の運営などの取り組みも始められています。高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や認知症高齢者等が増加する中、地域における老人クラブの役割は、ますます重要になっています。
- ② 一方、平成28年度末の県内の老人クラブ数及び会員数は、1,603クラブ、70,827人であり、高齢者の増加にもかかわらず、クラブ数、会員数ともに減少傾向が続いています。
60歳以上人口に占める老人クラブ加入率は16.0%となっており、県下の老人クラブは、会員増強に取り組んでいます。
- ③ そのため、老人クラブが広く高齢者の生きがい、健康維持や孤立防止、ボランティアや趣味等のさまざまな地域での活動の場となるよう、魅力あるクラブづくりや加入促進を進める必要があります。

[図1-1] 老人クラブ会員数と加入率 (%)



(注) 1. 厚生労働省「福祉行政報告例」に基づき計算
2. () 書きは老人クラブ数

[表1-1] 老人クラブ加入率全国順位

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
加入率(大分県)	20.2	19.1	18.1	17.2	16.0
加入率(全国)	15.8	15.1	14.4	13.9	13.3
全国順位	19	19	19	20	22

■ 施策の方向

- ① 高齢者の健康づくり・介護予防支援、見守り・安否確認、交流の場や多様な生活支援など、高齢者の在宅生活を支える老人クラブ活動の取組を促進します。
- ② 老人クラブ加入率の向上に向けた普及啓発や休会・解散クラブの活動再開、団塊の世代など若手高齢者の加入促進、自治会や他団体との連携などによりクラブの活性化を促進します。
- ③ 老人クラブが行う地域支え合いの仕組みづくりや、県・市町村老人クラブ連合会が行う老人クラブ活動の推進などの取組を支援します。



(老人クラブによる交通指導：大分市)



(老人クラブによるリサイクル活動：宇佐市)

■ 目標指標

指標名	単位	平成28(2016)年	平成32(2020)年
		基準値(目標値)	目標値
老人クラブ加入率全国順位	位	22(16)	16

1 地域活動への参画促進

(2) ボランティア・NPO活動等への参加促進

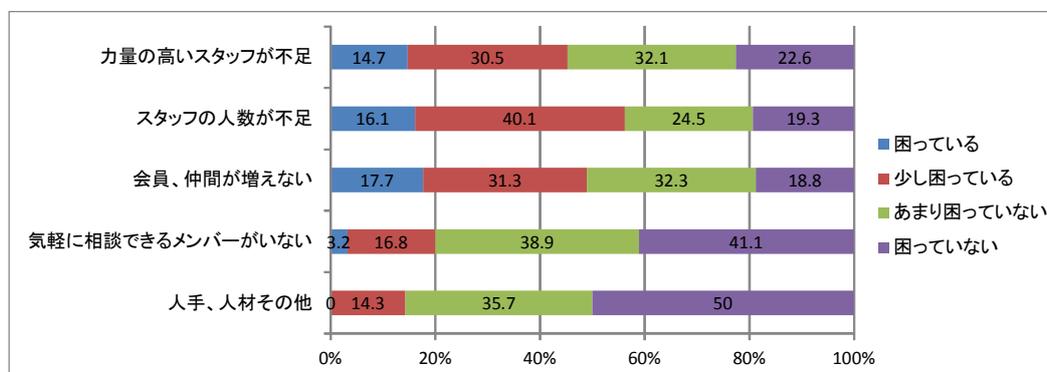
■現状と課題

- ① 人口減少社会の到来や県民ニーズ、価値観の多様化、地域コミュニティの低下などを踏まえ、ボランティアやNPOの活躍が期待されており、保健・医療・福祉、まちづくり、社会教育など、多様な分野で約500の特定非営利活動法人（NPO法人）が活動しています。
- ② 地域の課題を自ら解決しようとする県民や優れた経験・技術を持った高齢者等が、その意欲や技術をボランティアやNPO活動に活かすことは、社会貢献とともに、本人の「生きがい」や「喜び」につながります。
- ③ 県内で活動するNPO（NPO法人、任意団体）のうち、56%がスタッフの不足を、49%が会員や仲間が増えないことを困りごととしてあげています（平成26年度「おおいた協働のまちづくり」に関する実態調査）。

[表1-2] 大分県内NPO（特定非営利活動法人、任意団体）の活動分野上位5分野
（複数選択）
（平成29年10月現在、「おんぽ」登録団体中）

区分	1位	2位	3位	4位	5位
活動分野	まちづくり	こどもの健全育成	保健・医療・福祉	社会教育	文化・芸術・スポーツ
NPO数	367	343	336	329	283

[図 1 - 2] 大分県内NPO（特定非営利活動法人、任意団体）の人手、人材に関する困りごと（平成26年「おおいた協働のまちづくり」に関する実態調査）



■ 施策の方向

- ① 「おおいたボランティア・NPOセンター」と連携してNPO法人の設立・運営に関する相談に応じるとともに、ウェブサイト・SNSやイベント等を通じてNPO活動の意義や重要性の周知を図り、あわせて企業・団体に対してCSRとしてのボランティア・NPO活動への参加を促します。
- ② 市町村や市町村社会福祉協議会等と連携して、高齢者等がボランティアやNPO活動へ参画するための講座を開催するなど、ニーズ（地域の課題）とシーズ（ボランティア希望者）が円滑にマッチングするような仕組みを構築します。
また、高齢者が生活支援や子育て支援などの社会や地域の課題解決の担い手となる取組を支援します。
- ③ 高齢者も積極的にボランティア・NPO活動に参加できるよう、おおいたNPO情報バンク「おんぼ」等を通じてボランティア団体や特定非営利活動法人やその活動に関する情報提供を行います。

■ 目標指標

指標名	単位	平成28(2016)年度	平成32(2020)年度
		基準値	目標値
65歳以上の高齢者のボランティア登録者数	人	19,037	19,400

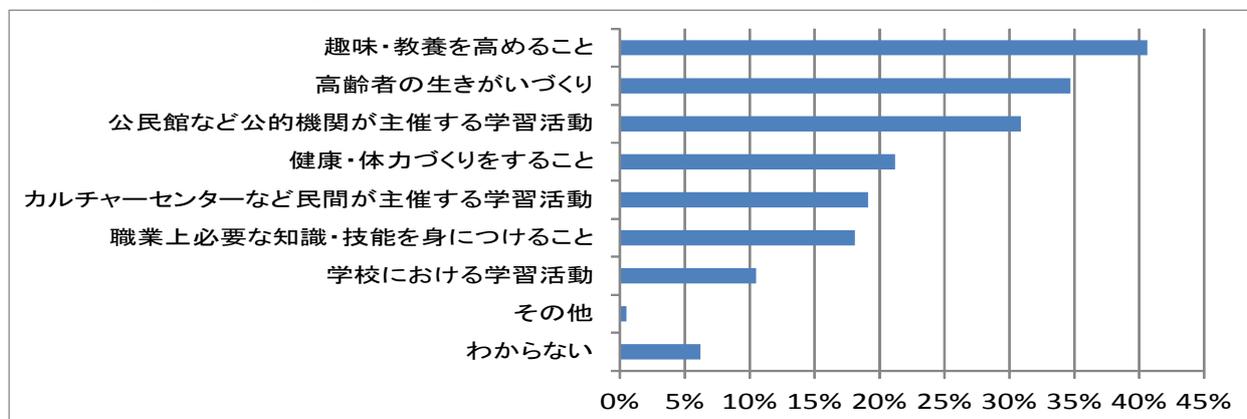
2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

(1) 生涯学習の推進

■現状と課題

- ① 生涯学習^{※1}・社会教育^{※2}は、地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習などを通じて、教養の向上や健康の増進等を図り、人と人との絆を形成する役割を果たしてきました。社会を生き抜く力の養成や、絆づくりと活力あるコミュニティの形成等を進める上で、生涯学習・社会教育が果たす役割は重要となっており、高齢者にとって生きがいのある豊かな人生につながるものです。
- ② 高齢者へ多様な学習機会を提供できるよう、県や市町村、大学、NPO、民間事業者等が幅広く連携する必要があります。また、公民館や図書館、博物館などの生涯学習関連施設の充実や指導者の養成、情報提供体制の整備等、学びの環境の充実を図ることも求められます。
- ③ 生涯学習の推進にあたっては、本人の学習が個人的な満足感にとどまることなく、その学習成果が学校や地域社会に生かされるようにすることが大切です。

〔図1-3〕「生涯学習」という言葉のイメージ（重複回答）



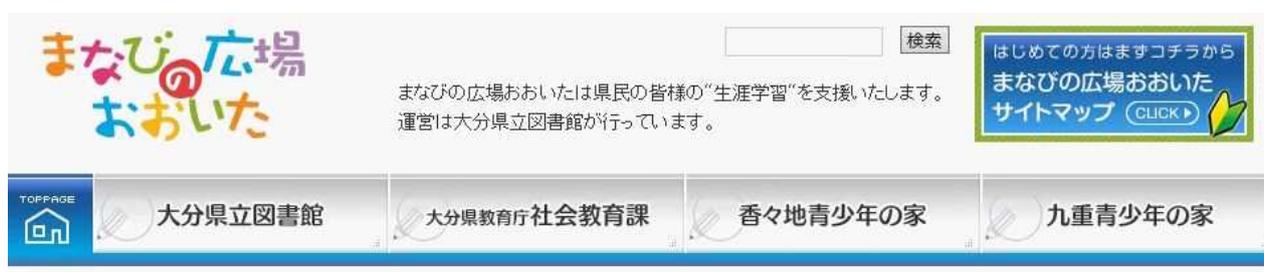
(注) 内閣府「生涯学習に関する世論調査」(平成24年)



(高齢者の授業への参加)

■ 施策の方向

- ① 学習機会を提供する様々な機関、事業者等と幅広く連携した公開講座やセミナーの開催とともに、課題解決のためのレファレンス^{※3}を行う県立図書館に今日的課題に関する学習プログラムの作成及び指導者研修機能を追加することにより、高齢者の生涯学習を総合的に推進します。
- ② 講座や講師情報などが一元的に確認できる生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」^{※4}を通じた幅広い情報提供により、高齢者をはじめとする多くの方の受講を促進し、地域活動やボランティア等で活躍する地域人材を育成します。
- ③ 地域活動やまちづくりをはじめ、子どもの学習活動や体験活動等へ的高齢者の参加を促進するなど、学習成果を生かせる場の充実を図ります。



(生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」サイト)

■ 目標指標

指標名	単位	平成28(2016)年	平成32(2020)年
		基準値(目標値)	目標値
生涯学習情報提供システムのインターネット講座アクセス件数	件	31,300 (30,800)	40,400

- ※1. 生涯学習：人が生涯を通じて行うあらゆる学習(学校教育・社会教育・文化活動・スポーツ・趣味など)
2. 社会教育：学校教育として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む)
3. レファレンス：利用者の質問や相談等に、司書が所蔵資料等を活用して調査し、資料や情報の提供などを行う図書館サービス
4. 「まなびの広場おおいた」：県民の多様な学習ニーズに応えるため、インターネットを利用した学習に関する講師や講座、施設などの情報を提供するシステム

2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

■現状と課題

- ① 身近な地域で日常的な運動・スポーツ活動の場を提供する「総合型地域スポーツクラブ」の会員数は年々増加しています。
- ② 医療や介護費用を削減し、元気に過ごすため、運動習慣の定着等により健康寿命を延伸する取組が必要です。高齢者に向けた「貯筋運動」は、手軽で無理なく筋力の維持・向上に有効なプログラムですが、指導者の育成や教室の普及・啓発などが必要です。
- ③ また、日頃の運動・スポーツ活動の成果を発表する機会を確保するため、「豊の国ねんりんピック」や「県民すこやかスポーツ祭」種目別大会数の増加や参加人数の増加に向けた取組が必要です。

[表1-3] 総合型地域スポーツクラブの会員数

区 分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
総 会 員 数(人)	14,922	15,614	16,090	16,866	16,872
60歳以上の会員数(人)	4,906	5,382	5,664	6,084	6,258
60歳以上の割合(%)	32.9	34.5	35.2	36.1	37.1

(注) 文部科学省調査 (各年度7月1日現在)



(貯筋運動：大分市)



(県民すこやかスポーツ祭：臼杵市)

■ 施策の方向

- ① 身近な地域で継続的にスポーツに親しめる総合型クラブへの加入を促進します。
- ② 高齢者のニーズに対応したスポーツ活動が身近な地域で日常的に行えるよう、関係団体や総合型クラブ等と連携する中で、スポーツイベントや健康教室等を開催し、高齢者のスポーツ参加機会の充実を図ります。
- ③ 高齢者を中心とした健康と福祉の祭典である「豊の国ねんりんピック」の実施内容の充実、全国健康福祉祭への県選手団の派遣、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの祭典である「県民すこやかスポーツ祭」等の各種スポーツイベントへの積極的な参加の促進など、日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会を確保するとともに、世代を超えた交流を図ります。



(豊の国ねんりんピック：大分市)



(総合型地域スポーツクラブ：別府市)

■ 目標指標

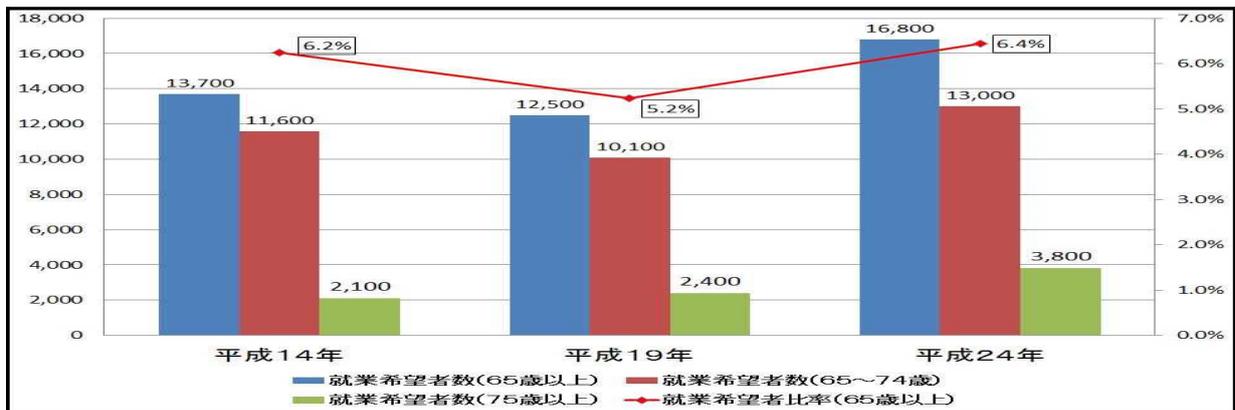
指標名	単位	平成28(2016)年	平成32(2020)年
		基準値(目標値)	目標値
豊の国ねんりんピック (スポーツ・文化)参加者数	人	5,726(5,900)	6,000

3 就業の促進

■現状と課題

- ① 少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少が進む中、高齢者がその豊かな知識や経験を生かし、生涯現役で働き続けることができるよう就業環境を整備する必要があります。
- ② そのためには、多様な形態による雇用・就業を促進するとともに、高齢者の雇用・就業に対し総合的な支援を行っていくことが重要です。
- ③ 県では、国との雇用施策の一体的実施事業として「大分県中高年齢者就業支援センター」を運営し、40歳以上の中高年齢者を対象に、職業相談、職業紹介やキャリアコンサルティングなどの就職支援をワンストップで行っています。今後は、潜在的求職者の掘り起こしを行い、求人事業所とのマッチングの促進を図る必要があります。
- ④ また、現在、高齢者のライフスタイルに合わせた臨時的、短期的、軽易な仕事を提供するシルバー人材センターが県内に14か所設置され、14市2町の高齢者が活用しています。今後は、会員の拡大や仕事の受注量の確保、会員に対する研修などの充実を図る必要があります。

[図1-4] 高齢者の就業希望状況



(注) 総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

[表1-4] 大分県中高年齢者就業支援センター業務取扱状況

	①初来所者数	②リピーター数	③紹介件数	④就職件数	⑤就職率 (④/①)
平成25年度	1,460	3,577	2,794	553	37.9%
平成26年度	1,229	4,014	2,504	557	45.3%
平成27年度	1,200	3,700	2,230	558	46.5%
平成28年度	1,671	4,401	2,485	717	42.9%

[表1-5] シルバー人材センターの状況

(単位:人)

シルバー人材センター名	会員数	就業実人員		就業延人員		
		請負・委任	派遣	請負・委任	派遣	
(公社)大分市シルバー人材センター	1,469	1,202	90	123,471	7,199	
(公社)別府市シルバー人材センター	465	409	5	56,648	533	
(公社)中津市シルバー人材センター	448	345	42	36,949	2,936	
(公社)日田市シルバー人材センター	259	183	11	20,024	485	
(公社)佐伯市シルバー人材センター	411	343	35	32,368	3,235	
(公社)臼津地域シルバー人材センター	420	357	35	40,309	4,462	
(公社)宇佐市シルバー人材センター	411	359	41	30,745	3,558	
(公社)豊肥地域シルバー人材センター	498	433	32	39,737	3,210	
(公社)国東市シルバー人材センター	245	235	45	16,752	1,699	
(公社)豊後高田市シルバー人材センター	154	124	2	15,818	110	
(公社)由布市シルバー人材センター	200	163	38	11,665	2,405	
(一社)杵築市シルバー人材センター	118	97		11,702		
(一社)日出町シルバー人材センター	113	97	23	6,645	1,239	
玖珠町シルバー人材センター	77	69		3,698		
計	5,288	4,416	399	446,531	31,071	
平成26年3月31日会員数(平成25年度就労人員)	5,362	4,391	0	428,822	0	
増減	数	△ 74	25	399	17,709	31,071
	伸び率(%)	△ 1.4	0.6	—	4.1	—

注)大分県シルバー人材センター連合会資料

・会員数は平成29年3月31日現在、就業人員は平成28年度の数値

■施策の方向

- ① 生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の活躍の機会を拡大し、その能力を存分に発揮できるよう、就職支援の強化や地域の多様なニーズに対する就労環境の整備を推進します。
- ② 大分県シニア雇用推進協議会（高齢者雇用安定法第35条に基づく協議会、事務局：県）において、高齢者を対象とした合同企業説明会やセミナーの開催など、地域の特性を活かした創意工夫のある高齢者の雇用機会の確保を目的とした事業を行い、潜在的な高齢求職者を掘り起こし、マッチングを進めるとともに、大分県中高年齢者就業支援センターやハローワークの活用を促進します。
- ③ 高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、働くことを通じて生きがいを得て、地域社会の活性化に貢献できるよう、県内のシルバー人材センターの会員の拡大や仕事の受注量の確保に向けた広報・啓発活動を推進します。
- ④ 高齢化の進展に伴う福祉分野の労働力不足を補うとともに、高齢者の持つ能力や経験を生かした福祉分野への参入を推進するため、大分県シルバー人材センター連合会による県内シルバー人材センターの会員等を対象とした介護職員初任者研修などの福祉分野に係る講習会等の実施を支援します。

